

活動団体名	一般社団法人スマート・テロワール協会
所在地	東京都新宿区高田馬場1-34-8大輝ビル302
団体の目的	この法人は、東京主導の市場経済に依存してきた農村地域の構造を変革し、地域自給圏の構築を提唱することで、農村がかかえる多様な課題を解決し、地域経済の発展と自立に寄与することを目的とする。
活動地域	長野県北信地域
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	北信スマート・テロワール～農業を核とした自立(自律)分散型農村による共(競)創ネットワーク スマート・テロワールとは、その地域の気候、地形など農業的な適性を見極め、地元の人によって使用され土地で産出され・加工される農産物・食品・飲料が、その地域自体の景観やライフスタイル、味わい、消費モデルなど表現することである。日本全体で人口30～40万人規模の「農村地域経済圏」を定め、美しく個性的で豊穡な地域自給圏を創造し、食料自給基盤を形成、東京一極集中から脱却して地方創生、日本経済の持続的成長を目標とする。
地域の現状・課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 農業の継続性、果物の価値の向上</li> <li>2. 農工(耕)一体の実現→ 果物の稼ぐ力を強化(稼げる技術習得支援)</li> <li>3. 地域内加工・消費の実証</li> </ol>
地域が持つ資源	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 従来、新開発の地場資源としての果実</li> <li>2. 栗に代表される農業的加工事業者</li> <li>3. 優良で志の高い企業との協働</li> <li>4. 自然エネルギーの活用</li> <li>5. 人のための道づくりをテーマにした国道整備などインフラへの展開</li> <li>6. 次世代による新たな動き(内も外も)</li> </ol>
取組内容	<p>事業1: ベース情報の整理 小布施町及び北信地域における農産物の消費と生産(自給状況)のデータ整理及び主要農産物の生産団体、加工業者の整理、土地データベースの把握。</p> <p>事業2: スマート・テロワールの実現に必要な要素と戦略を学ぶ勉強会</p> <p>事業3: ネットワーク化シンポジウムの開催</p>
地域循環共生圏を实践することで想定される効果	<p>(環境)遊休農地の牧畜活用や田畑転換が起こることで、地消地産や暮らしを表象する美しい農村景観が形成される。</p> <p>(経済)「土づくり」の見直しによって、生産者重視の加工プロセスを構築する。これにより、農家(生産者)の消費者視点によるものづくりが強化され、質の高い消費につなげる。</p> <p>(社会)美しい景観の中で構築される、牧畜、農業、加工が循環の中で一体化することで、信州(小布施)スタイル(生活様式)の社会共有を目指す。</p>



スマートテロワール協会



団体の活動の様子



団体の活動の様子

### 北信スマート・テロワール

小布施町を中心とした北信濃地域プラットフォームの実施体制図



北信スマートテロワール目指す地域の姿